

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	季節的にも寒い時期でもあり、人的環境課題もあり日常的な外出支援ができていない	暖かい気候になるので、散歩や買い物日常的に出来る環境づくりに取り組む	人的環境を工夫したり、外出ボランティアを利用したりする。又個別対応のあり方を見直し、ご入居者の希望に添うように、短い時間でも気分転換できるような散歩やドライブを取り入れる	3ヶ月
2	25	一人一人の入居者の過ごし方、心身状況、有する力の把握はしているが、その力を活用して個々の出来る事へのアプローチが出来ていないのが課題である	一人一人ができること、楽しめることを考え、共に出来るように興味を持って頂く	役割を持って生きがいにつなげる。調理の準備に参加できなくてもテーブルに参加するだけで香りや食べる楽しみがわく環境をつくる 座ってでも出来るパズルやことわざ遊び、ゲームに参加する事で笑顔を引き出す	3ヶ月
3	35	備蓄が全て整っていない状況である 災害マニュアル作成に当たり、職員の少ない夜間の発生にも対応するものや、災害別のマニュアル検討も必要である	早急に完成して避難訓練に活用して、昼夜を問わず避難できる方法を身に着ける	一度にすべてを備蓄することは難しいので、計画的に準備する マニュアルは、職員が出来る事を基本に作成して全員で共有する	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。